

# ちゅわ

# みんなのデータサイト

# の要

市民のちゅわなこえが集まって各地に測定所ができ、それがまた集まってできたのがこのサイトです。https://minnanods.net/



9.21 に神戸・婦人会館にて開かれた《アーサー・ビナード講演会 with みんなのデータサイト「ちゅわなこえ」があつまって》という集会で、東京から来られたみんなのデータサイト事務局の中村奈保子さんが同団体の自費出版本「放射能測定マップ+読み解き集」を紹介しました。地図帳のように大判でフルカラーの画像がたくさん載っている分厚い本ですが、自費出版にも関わらず1万6000冊も売れているそうで、一家に一冊置いておきたいと思える本です。(あ)

みんなのデータサイトとは、2011年の原発事故のあとに立ち上がった市民放射能測定所(室)のネットワーク。全国で31カ所、北は北海道から、南は広島や福岡まで、それぞれ独立した測定所が加盟しています。(※下は東京都の測定マップ。76・77ページ)



んと土壌測定調査をやるだろうと思っていましたが全くやる気配がありません。土壌調査はほとんど福島県のみで、それ以外の関東などではヘリコプターでモニタリングした結果を計算して、そこから推計した値を出して地図を作っただけです。それも栃木県あたりまでで、東京などは範囲外。自分たちが知りたい場所の汚染がどれくらいかわからない。そこで『国がやらないなら自分たちでやろう』と深さ5cmなど土の採取方法を統一して呼びかけ、一カ所一カ所、土を採っていただきました。

それで3年間のべ4000人の協力を得て、放射能が検出されるかという調査を17都県の3400カ所ですることができました。一人一人が土を採って、ふるいにかけて、測定所に送り、それを測定することで1つの測定点ができます。ひたすら測っては入力するというをくりかえし、汚染の強さによって色分けし、このようなマップをつくりました。(ホームページ上でも見ることができ)自分たちが測りたい場所を市民自らが明らかにしたものです。

それらのデータをもとに昨年、詳しい解説をつけて、200ページの本を自費出版しました。すると大反響で、発送するのがすぐたいへんだったので本屋でも買えるようになりました。それが「図説・17都県 放射能測定マップ+読み解き集」です。

第1章は17都県それぞれの測定地図と解説が載っています。汚染が強いいくつかの県では、チェルノブイリなら強制移住や避難の権利がある地点がいくつあるかという比較表も掲載しています。

第2章の食品についてのデータは、データサイトだけでなく厚労省が発表する各自治体のデータも含めて解析しています。

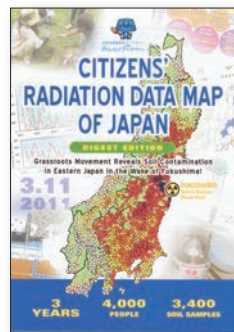
主食のお米、赤ちゃんが飲む粉ミルク・牛乳、質問が多い海魚・川魚。そして特に放射性物質が多く含まれがちな野生のキノコ、山菜、野生動物(猪、鹿など)についてデータを解析しています。第3章は放射能の基礎知識。たとえばチェルノブイリと福島の汚染による区分、移住の権利と避難の権利についての比較など。日本の基準がいか

にひどいかということがよくわかります。それ以外にも、指定廃棄物と除去土壌や100

ベクレル・8000ベクレル問題、そして薪を燃やした灰(非常に汚染が高くなるので広範囲で注意が必要)などたくさんのページがあります。ぜひ見て頂きたいと思います。

今日の集会のテーマは「ちゅわいこえがあつまって」。原発事故後、市民が不安だということで市民測定所ができ、その測定所の集まりがみんなのデータサイトで、データサイト+多くの方々の応援でマップ集ができた、この流れも「ちゅわいこえの集まり」だだと思います。

実は春から「マップ集」の英語版ダイジェストの制作に取り組み、ちょうど今日9月21日が発売日なんです。来年のオリンピックを前に、海外から「日本の放射能はどうなってるの?」という問い合わせが多く届いたので作りました。16ページのコンパクトなものです。



日本語版には入っていない、2020年オリンピックの時の土壌汚染の地図と事故前(2010年)の地図を入れました。ぜひ、海外の方々にも広めてもらえたらうれしいです。

★「図説・17都県 放射能測定マップ+読み解き集」

(A4判、200ページ、カラー、¥2,315+税)

★ CITIZENS' RADIATION DATA MAP OF JAPAN

(A4判、16ページ、カラー、¥500+税)

いずれもみんなのデータサイト出版発行

★みんなのデータサイト事務局

11時~19時 水曜定休

024-573-5697

〒960-0201

福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

認定 NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト内

https://minnanods.net/



↑東京都のページは4ページにわたって載っている

測って欲しいと市民が持ち込んだ食品や土を測って、その結果を同じデータベースに入れることで全ての測定所の測定結果を一覧でみることができるホームページです。

原発事故後、情報を探しやすいしてほしいという市民の声と、一元化して記録として残すことが大切という測定所のネットワークからの意見が出たことから構想開始、2013年に食品データの検索ができるサイトとしてオープン。そのあと何回かデザインを変え、機能をふやしています。スマホやPCで「みんなのデータサイト」と検索してください。

何ができるかというと、たとえば「大豆」など食品名とその産地、何年度産など選んで検索すると、市民測定所で測った結果が一覧で出てきます。

また2014年から3年かけて「土壌プロジェクト」を実施しました。というのも、さすがに国もこんなに大きな事故があったのだから、きち



←講演会のあとのトークセッションで本を持って話す中村さん。(右が司会のアーサーさん)

できたばかりの英語版